

情報セキュリティ格付け制度の最新動向

～第三者によるセキュリティの客観的な評価・点検～



2017年7月7日
株式会社アイ・エス・レーティング

当資料に記載の内容は予告なく変更することが御座いますので、予めご了承願います。



「格付」という 新たな信頼の形！

私たちは、世界初の「情報セキュリティ格付会社」です。



セキュリティ対策は★品質管理

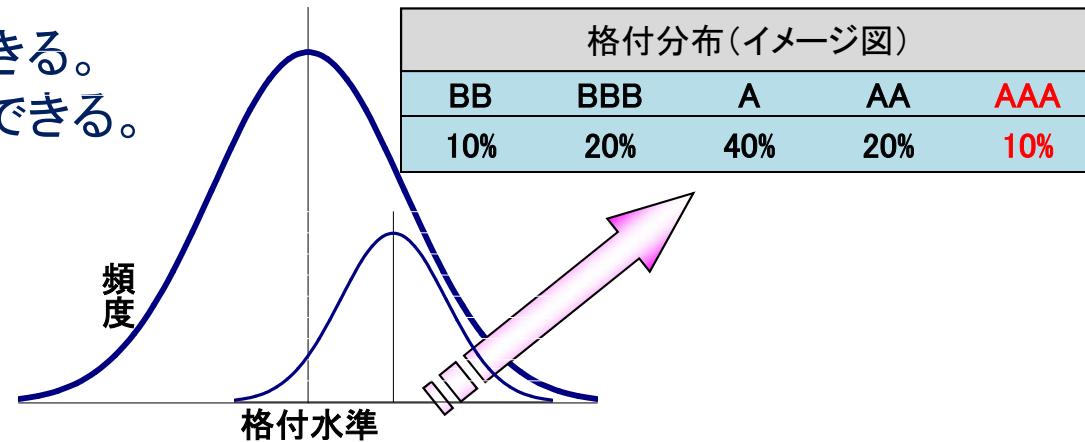
- ◆格付けで情報セキュリティの強度をアピールできる。
- ◆格付けで自社のリスクマネジメント体制の点検できる。
- ◆セールス・ツールとして活用できる。



大日本印刷株式会社(本社:東京 社長:北島)
あるDNP蕨工場(埼玉県蕨市)は、大量の:
を製造・発行する部門の情報セキュリティ
社の株式会社アイ・エス・レーティングより、
た。これまでに「AAAIis」を取得した企業は□

DNP蕨工場

PR



**大容量・高セキュリティ・ログ取得！
安心のファイル転送で情報漏洩防止**

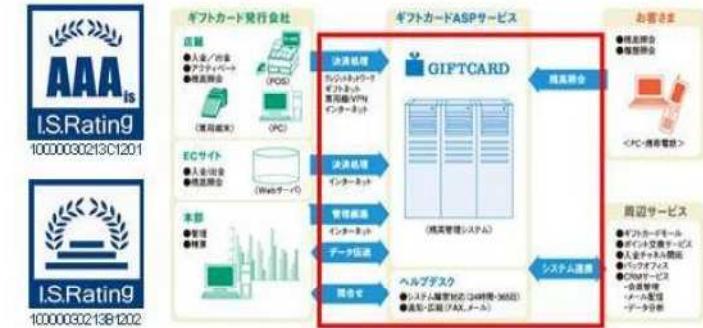
インターネットを介した
セキュアなファイル交換サービス

クリプト便

I.RI SECUR TECHNOLOGY

凸版印刷株式会社
富士通エフ・アイ・ピー株式会社

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子真吾、以下 凸版印刷)と富士通エフ・アイ・ピー株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長:浜野一典、以下 富士通FP)が共同で展開する「ギフトカードASPサービス」は、顧客および残高管理業務について、情報セキュリティの外部格付機関である株式会社アイ・エス・レーティング(本社:東京都中央区、代表取締役社長:三好真、以下 アイ・エス・レーティング)より、17段階中最高位であるAAAIisの評価を取得しました。決済サービスでのAAAIis格付の取得は初となります。



左上)情報セキュリティ格付:AAAIis、左下)第三者証明書:システムの可用性・完全性、右)ギフトカードASPサービスと格付審査範囲(赤枠)

情報セキュリティ報告書に記載して、
★安心・安全を訴求し、競合との差別化に！

情報セキュリティ格付けの取得状況

会社名	格付スコープ	格付符号
富士通株式会社	館林システムセンター	AAAis
	明石システムセンター	AAAis
富士通エフ・アイ・ピー株式会社	横浜データセンター	AAAis
	中部データセンター	AAAis
株式会社 富士通エフサス	九州データセンター	AA ⁺ is
	東京LCMサービスセンター	AA ⁺ is



■所在管理システムなどにより相互けん制の働く仕組み作りを構築するなど、悪意ある内部者に対する対策も織り込んでいる。

- ✓多階層のセキュリティポイントを設けた強固なセキュリティ対策
- ✓ラック鍵は生体認証と連携したラック鍵管理システムを採用
- ✓サーバ室入り口は生体認証と無線タグ、所在システムを連動させた共連防止対応

個人情報取り扱い部署での対策

電算処理室での対策事例

物理的対策

- 生体認証を導入した入退場管理による部外者侵入防止
- 監視カメラの設置による不正行為の牽制
- ポケットのない作業着着用による
データ等の持ち出し防止
- 記憶媒体の書き出し場所の分離
- 金属探知機を用いた検査 など



指静脈認証



虹彩認証回転ゲート

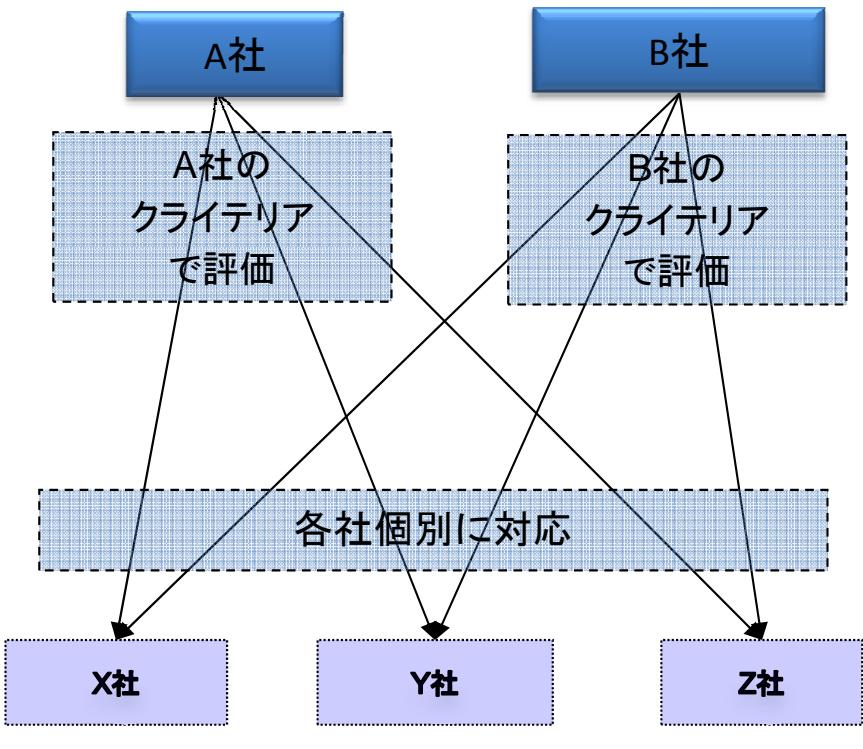
技術的対策

- アクセスログの取得の実施
 - データ記憶媒体に書き出す作業員の少数化
 - データ記憶媒体に書き出す作業員のDNPグループ会社社員への限定
 - データ記録媒体への書き出しログのチェック頻度向上

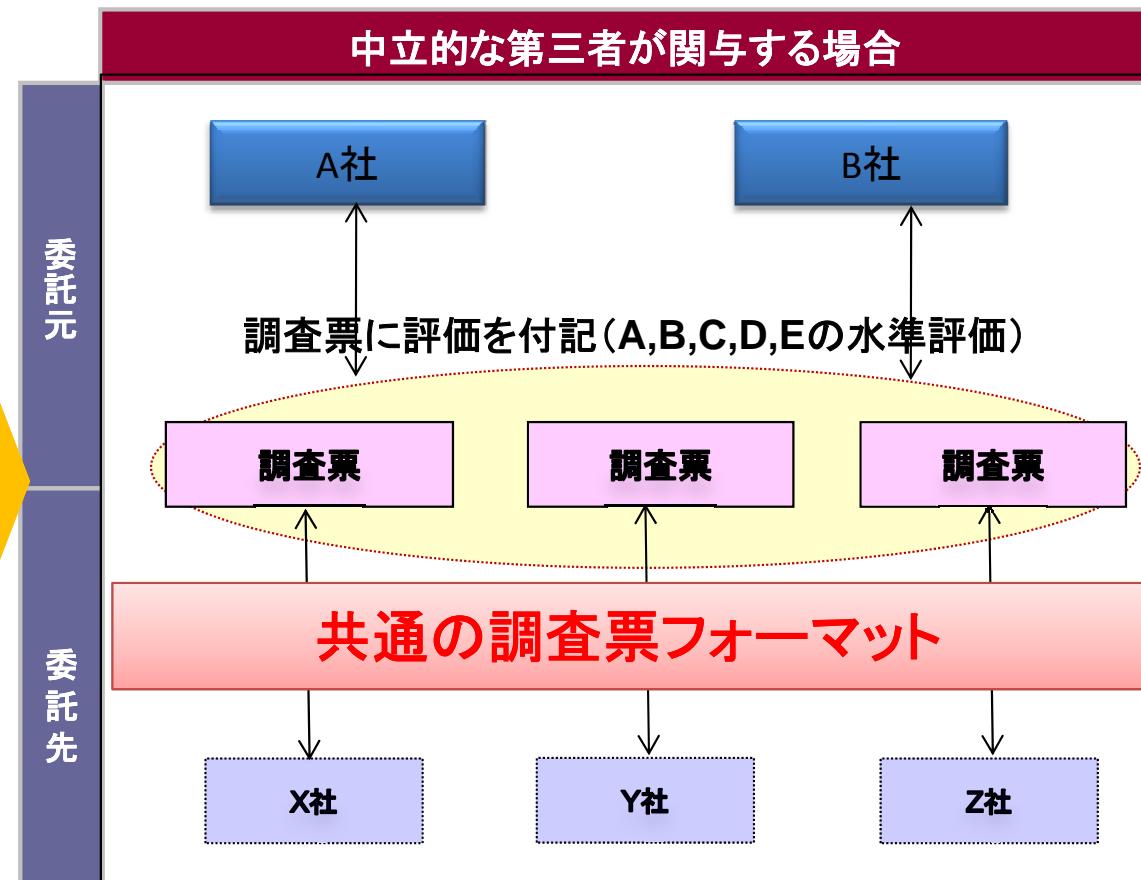
調査票の標準化が目指すもの(n対nの解消)

- 多くの企業が客観的な評価指標(項目)を共同利用するなど、社会全体のコストを低減する方策が求められている。この制度では、政府のガイドラインに示されている「委託先の選定」と「委託時の必要かつ適切な監督」に共通の調査票を活用できる、安全管理措置に関する評価項目の共通の枠組みが確立し、委託先調査の社会インフラ形成され、取引先・委託先の重複調査が解消される、ことを目指している。

中立的な第三者が関与しない場合



中立的な第三者が関与する場合



調査票の標準化に関するヒアリング結果

- 個人情報を含む委託先が国内だけで千社を超え、それ以外を含めると1万社以上あるが、なんとかしたい。
- 特に、再委託先の管理は委託先任せになっており、必ずしも行っていない。
- 代理店、施工会社、保守会社での営業機密の管理について、手付かず、形骸化している。
- ASPサービスと営業機密(非個人情報)の委託先のニーズあり。(数千社)
- 個人情報保護法の改正により、5,000人以下の小規模取扱事業者の調査に活用したい。
- 再委託先の監督義務の導入もあり、企業として委託先監督業務の軽減に利用したい。
- 経産省ガイドラインや金融庁の監督指針、そしてマイナンバー対応やサイバーセキュリティ経営ガイドラインなど、委託先だけでなく再委託先やSCM全体の監督(ガバナンス)に活用。
- 調査票を各社で共有することで、調査コストを下げたい。・調査項目について当局に確認して欲しい。
- このまま業務を委託して良いのか、是正すべきか世間相場を示す評価の結果を知りたい。

匿名加工情報の加工・管理の適切性を第三者証明

- 弊社は、新たな事業として、匿名加工情報の安全管理措置等の消費者に説明する「第三者証明書発行サービス」の展開を念頭に、現在、関係各社でのニーズを確認しております。特に、匿名加工情報については消費者とのリスクコミュニケーションが肝心です。
- 具体的には、**2. 加工方法自体を安全に管理と7. 安全管理の措置(特に再識別は禁止に関する安全管理措置)**についての第三者証明書の発行による消費者への説明が有効です。加えて、匿名加工情報を提供する目的及び消費者のメリットについても、その確認状況を第三者として記載して消費者の納得感を高めることができます。
- 下図のように、組織間の牽制機能を利用(保有情報の所管部署を分離)することで、再識別ができないようにすることができます。このような内容を第三者証明書を用いて消費者に伝えることが可能です。

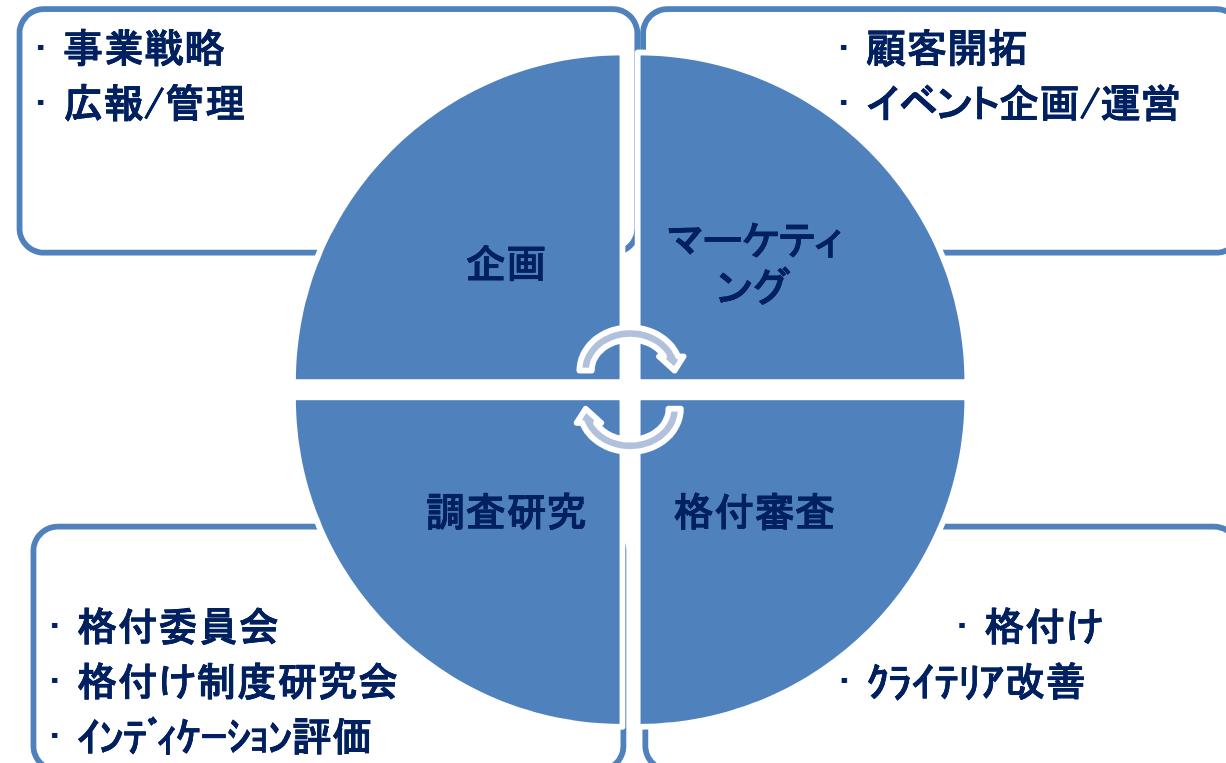


(出典)富士通総研ホームページ/匿名加工情報による
ビッグデータの活用

弊社への要望事例

- 情報漏洩が**刑事罰**になりかねないので、現在の対策を**総点検**したい。
- 世間水準と比較してどのレベルなのか、格付けを取得して確認したい。
- 内部の悪意者への対策が十分か、第三者から中立公平な立場で指摘して欲しい。システム子会社や委託先での現地確認をして**専門家としてのアドバイス**が欲しい。
- 第三者の視点で**マイナンバー業務**の監査を行い、結果をグループ会社で共有したり、或は業務委託元への報告資料として活用したい。
- 自治体から業務を受託するに際し、データセンターの「**Tier/JDCC基準**」を求められ、第三者証明を用いて説明したい。
- 充実したセキュリティ対策をお客様に説明し**ビジネス拡大**に役立てたい。
- 役員、社員の全員を対象に、座学だけでなく**課題解決型の教育研修**を実施して欲しい。
- **匿名加工情報の安全管理措置等**(適正な加工、加工方法自体の安全管理、再識別は禁止等)の第三者証明書を公表して、消費者とのリスクコミュニケーションの向上を図りたい。

「格付け」で確かめ合う、情報の安心・安全！



お問合せ先



株式会社アイ・エス・レーティング

TEL: 03-3273-8830

E-mail: isr@israting.com <http://www.israting.com/>

なお、当資料に記載の内容は予告なく変更することが御座いますので、予めご了承願います。